日ASEAN・AI共創イニシアティブの進化

令和８（2026）年11月
外務省・内閣府・経産省・総務省・文科省・デジタル庁

◆ 昨年10月、日ASEAN首脳会議において、高市総理から**「日ASEAN・AI共創イニシアティブ」**を発表。同イニシアティブの下、ASEAN各国との間で**AIエコシステムの共創に関する具体的な協力を推進**（ソリューション共創、制度整備・ガバナンス、人材育成・能力構築、基盤支援・インフラ支援）。

◆ 本年5月、高市総理が表明した**「進化したFOIP」**において、域内各国が**「自律性」・「強靱性」**を備えることの重要性を強調した上で、その具体化の取組として、母国語AIや産業別基盤モデルの開発等のAI協力を進めていく方針を打ち出した。

◆ 本年の日ASEAN首脳会議においては、高市総理から、「進化したFOIP」の更なる具体化のための取組として、以下のとおり**「日ASEAN・AI共創イニシアティブ」の進化にかかる方針**を表明。

「日ASEAN・AI共創イニシアティブ」の拡充

◆ 「日ASEAN・AI共創イニシアティブ」の下、ASEAN各国と進めている**AI協力の進捗をまとめたファクトシート（別紙）を発出**した上で、今後、**同イニシアティブの拡充に取り組むこと**を表明。

AI安全性・セキュリティに関する日ASEANパートナーシップ

◆ 昨今のフロンティアAIを巡る加速度的な状況変化により、AIの安全性・セキュリティの確保が地域のAIエコシステム全体の強靱性を左右する課題となっていることを踏まえ、**同イニシアティブを拡充する取組の一つ**として、新たに**「AI安全性・セキュリティに関する日ASEANパートナーシップ」を立ち上げ（詳細後述）**。

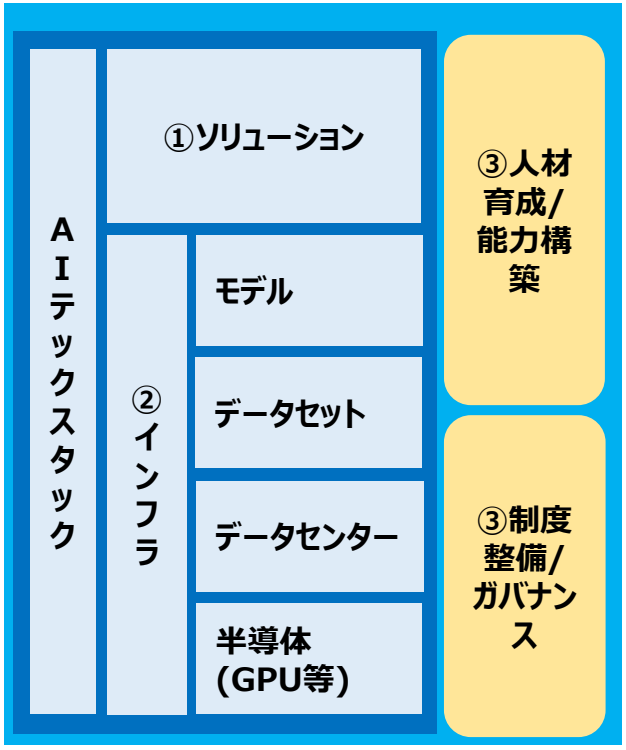
◆ 同枠組みの下、ASEANの信頼できるパートナーとして、「広島AIプロセス」の議論も踏まえつつ、同地域の**AI安全性の議論を主導**するとともに、各国が自国の事情に合った安全性のガバナンスを構築し、安全性評価・人材育成・制度整備を自律的に実施できるように支援することで、**「安全、安心で信頼できるAI」エコシステムを共創**し、その**強靱性の向上**に貢献していく。

ファクトシート：日ASEAN AI共創イニシアティブの進捗

令和８（2026）年11月
外務省・内閣府・経産省・総務省・文科省・デジタル庁

2025年10月の「日ASEAN AI共創イニシアティブ」の立ち上げ以降、日本とASEAN加盟国の間では、ASEAN各国のAIの自律性・強靱性の向上に向け、AIソリューションの共創、インフラ支援、人材育成・能力構築、制度整備・ガバナンスの4つの分野において、具体的な協力が着実に進展している。以下は、その代表的な協力事例である。

AIエコシステム共創イメージ



① AIソリューションの共創

◆日マレーシアAIプラットフォーム立ち上げ・企業間マッチング実施
◆フィリピンGATESプログラムへの防災分野支援
◆アセアン工学系高等教育ネットワーク（AUN/SEED-Net）によるAI共同研究（タイ、ラオス、マレーシア、ベトナム）
◆グローバルサウス補助金による日本企業のＡＩ実証事業の実施

② インフラ支援

◆ 日本企業によるカンボジアとのクメール語LLM開発に向けた協力の推進
◆ LLM開発などAI関連分野を含む協力覚書等の署名（カンボジア、フィリピン、ベトナム）
◆ デジタル庁とASEAN諸国のガバメントAI協力に関する意見交換実施
◆ FOIPデジタル・コリドー構想による海底ケーブル網の整備・強化

③ 人材育成と能力構築/制度整備とガバナンス

◆東大松尾研によるAI教育提供及びベトナム・フィリピン・マレーシア機関との起業支援覚書署名
◆NEXUSによるAI人材交流・育成
◆インドネシアAIタレント・ファクトリー（AITF）へのJICA支援
◆文部科学省とベトナム科学技術省との間でAI分野の研究開発に関する協力覚書に署名
◆ 広島AIプロセス行動規範とASEAN AIガイドのマッピング作業
◆ OECD AI政策ツールキット共創ワークショップ開催
◆ OECD・東南アジア間のAIに関する定期対話枠組み設立・ワークショップ開催
◆ J-AISIとベトナム国立デジタル技術・デジタル変革研究所（NIDiT）の二国間会合開催

AI安全性・セキュリティに関する日ASEANパートナーシップ

令和８（2026）年11月
外務省・内閣府・経産省・総務省・文科省

- 昨今、**高度な能力を有するフロンティアAIモデル**は、複数工程にわたる複雑なタスクを自律的に実行する能力を急速に向上させており、サイバーセキュリティの脅威やAIの制御不能等、新たなリスクが顕在化しており、国際社会において**AI安全性・セキュリティへの関心が急速に高まっている**。
- 日本は、2024年2月、世界で三番目に**AIセーフティ・インスティテュート（AISI）**を設立。安全性評価手法・ガイドライン・ツールの開発・公表、各国AISIとの連携を通じた知見の蓄積、**「広島AIプロセス・フレンズグループ」**におけるマルチ・ステークホルダーによる知見・ベストプラクティス共有等、**AI安全性・セキュリティの国際的推進**に積極的に取り組んでいる。
- こうした中、本年の日ASEAN首脳会議において、**「日ASEAN・AI共創イニシアティブ」**を拡充し、そのための取組の一つとして、**「AI安全性・セキュリティに関する日ASEANパートナーシップ」**を新たに立ち上げ、以下を柱とする**AI安全性・セキュリティに関する協力を推進**することを表明。
- 同枠組みの下、ASEANの信頼できるパートナーとして、「広島AIプロセス」の議論も踏まえつつ、ASEAN地域の**AI安全性の議論を主導**するとともに、ASEAN各国が自国の事情に合った安全性のガバナンスを構築し、安全性評価・人材育成・制度整備を自律的に実施できるように支援することで、**「安全、安心で信頼できるAI」エコシステムを共創**し、その**強靱性の向上**に貢献していく。

① 安全性評価等に関するベストプラクティスの共有・共創

（1）知見・ベストプラクティスの共有
- ASEAN AI Safety Networkでの対面会合・ウェビナーによる日本の関係機関の知見共有
- 広島AIプロセス、OECD・GPAI等を通じた知見共有

（2）安全性評価・制御手法の共創
- AIモデルのガードレール実装手法の共有・共創

② 人材育成・能力構築

（1）専門家によるセミナー・研修
- AI安全性・セキュリティに関する日本の関係機関へのスタディツアー
- AI安全性に関する研修

（2）サイバーセキュリティ人材育成
- 日ASEANサイバーセキュリティ能力構築センター（AJCCBC）によるAIセキュリティに関するワークショップ
- 日本の知見や技術の共有を通じた能力強化

③ 安全性評価体制の整備

AI安全性評価体制の整備に向けた個別支援・連携強化
- AI安全性評価を所掌する各国政府機関に対する体制整備・強化のための助言・支援の提供
- シンガポール及びマレーシアのAISIとの協力深化